

学びの改革実践校応援事業

学びの改革支援課

1 学びの改革とは

これまでの学校における学び


- ・教師主導による画一的、一斉一律の教育
- ・知識及び技能習得型の教育

これからの学校に求められる学び


- ・子ども主体の自律した個の学び
- ・子どもの資質能力に個別最適化した学び
- ・課題解決型の探究的な学び
- ・子どもや地域の実態に応じた多様なアプローチ

2 事業の狙い、事業内容

- 改革をモデル的に実践する学校として42校を指定し、取組推進のための支援を実施
- 学びの改革の成功事例を創出し、その成果を広く普及することで、他校の自発的な取組を促進




自校の実態に応じたアドバイス
改革アドバイザーの訪問



県内外の実践校への視察
先進校視察



一流講師による最新の知見を習得
学びの改革ミニフォーラム



各ブロックで定期的な情報交換
学びの改革カフェ

【今後の展開】

R2	R3	R4	R5～
25校(県の支援)	25校(市町村の支援による継続)		
	39校(県の支援)	39校(市町村の支援による継続)	
		42校(県の支援)	42校(市町村で継続)
実践校25校	実践校64校	実践校106校	積み上げた実践を基に全県展開
県の支援によらず、独自に学びの改革を進める学校の増			

※実践校への支援は原則1年目のみとし、以降は各学校及び市町村教委で取組を継続する。

3 令和3年度実践校の取組事例

学校名	具体的な取組
軽井沢町立 軽井沢西部 小学校	算数の自由進度学習を中心とし、生活・総合をベースとした探究、異年齢集団による活動等により、自立した学び手を育てる授業改革を進める
大町市立 八坂中学校	6・3制を基本として、発達段階に配慮したカリキュラム開発、ICTを活用した協働の学びの推進、小学校教科担任制による小中の連携を推進する
須坂市立 東中学校	1人1台端末の効果的な活用、ICT活用のネットワーク拠点校として小中連携・中中連携により、個別最適な学びと協働的な学びの実現、及び学校規模縮小下での働き方改革を実現する

4 令和4年度予算額

386万円